



## 資本力と技術における新しい経済の潮流

クロダインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

資本と技術は、未来を有する。現状における変化は、新しい技術文明の創造を経済が行なっているのである。これらは、未来という現実が存在するのである。

自由経済システムという現実、経済がその自由な創造性において、新しい世界を創造しているという現実を伝えるのである。

これらは新しい宇宙時代という現実とともに、想像に勝る変化が今日存在するのである。これら変化への参加は高揚を与える。現実における大手企業が提案する新しい世界は現実なのである。

留意したいのは、自由経済システムと資本主義というルールは、所有と株式、グローバリズムとともに、資本力と新技術におけるエリートたちの新しい夢の創造が存在するのである。

これらは完全な2分化を有する。既存現実がもはや常識でないのである。この理解は変化への理解を与えるものである。

これらは未来という現実が存在することを理解しなくてはならない。現状の世界は更なる未来を有するのである。

これらは経済がこれらを牽引しているという真実を留意しなくてはならない。先端性という世界は明らかに異なる現実を有するのである。

他方において資本力は、新しい現実の創造を求め、資本はそれらへ向かうのである。これらはグローバリズムにおける現実とともに、革命的な変化を世界が有するのである。

これらは既存社会システムの転換を提案できるものである。既存社会が完全に新しい社会への転換を求められていることは真実なのである。これらは、既存社会が新しい技術文明へ転換しているためであり、これら真実において全ての現実の変化が存在する。それら理解は新しいスタンディングポイントを全ての存在へ要求しているのである。